

# NEWS

## 都市環境デザイナー協会（仮称） 設立準備会ニュースレター

発行者：都市環境デザインを考える会  
世話人グループ

1



1990.12.5

昨今、都市環境や都市デザインに広く関心が寄せられ、各地で積極的な取組みがなされているのは同慶にたえません。このようななかで、ときおり、拠りどころとなる新しい組織が必要だとする意見や動きがありました。その一つにこの〈都市環境デザインを考える会〉もありますが、昭和63年夏ごろより有志が集まり、議論を重ねてきました。

その活動経緯をお知らせするとともに、新しい組織の構想をお示し、是非ご参加いただきたくこのニュースレターを差し上げる次第です。

### ■世話人グループ（アイウエオ順）

上野 泰	加藤 源	岸井 隆幸	窪田 陽一	黒川 淳子
佐々木政雄	佐野 寛	篠原 修	菅 孝能	曾根 幸一
高橋志保彦	高見 公雄	近田 玲子	土田 旭	長島 孝一
鳴海 邦穎	南条 道昌	西沢 健	西脇 敏夫	林 泰義
松谷 春敏	面出 薫			

## ■これまでの緯緯

昭和63年夏から秋  
都市環境デザイナー協会設立の必要性を強く認識するに至った世話人数名により、数回の会合がもたれた。

平成元年2月10日、17日  
世話人の呼び掛けにより、東京（10日）、大阪（17日）において「第1回都市環境デザインを考える会」が開催された。  
出席者数／東京29名、大阪16名

平成元年3月  
2月の会合において呼び掛けた方々を対象として、デザイナー協会のあり方、会に対する期待等についてのアンケート調査が実施された。

回答者数／東京28名、大阪11名  
なお回答を寄せられたほぼ全員から、新しい組織についての意見・希望が出された。専門家集団、業界的活動よりも幅広い活動内容をもち、当面50～100人ていどの個人参加の任意団体からスタートして会員を増やし、将来的には法人団体にしていくというのがおおよその展望か。

平成元年春から夏  
アンケートの結果を含め、会のあり方にについて世話人による数回の会合が開催された。

平成元年10月28日、11月18日  
再度会のあり方を議論することを目的として、平成元年2月と同様の「第2回都市環境デザインを考える会」が東京（10月28日）、大阪（11月18日）にて開催された。  
出席者数／東京22名、大阪25名

平成元年冬から平成2年夏  
第1回、第2回の「考える会」の議論を踏まえ、世話人による数回の会合が開催された。

## アンケートの結果

	東京	大阪	合計
配 布 数	42	19	61
回 答	28	11	39
1. 新しい組織に何を期待するか (複数回答)			
① 愉しく語る	5	3	8
② 情報交換・議論	18	8	26
③ 社会的活動	7	2	9
④ 関係者名鑑	7	3	10
⑤ 業界活動	12	5	17
⑥ 都市環境デザイン のあり方研究	15	6	21
⑦ 人材育成	12	3	15
⑧ その他	6	0	6
2. 新組織の形態・運営等			
1) 形態			
① 社団法人	10	3	13
② 学会	2	1	3
③ その他	10	6	16
2) 会員数			
① 50人以下	1	1	2
② 50～100人	8	4	12
③ 100～500人	9	4	13
④ 500～1000人	1	0	1
⑤ 1000人以上	1	1	2
3) 資金調達			
① 個人会員	21	9	30
② 特別会員	13	6	19
③ 事業収入	12	5	17
④ 寄付金	9	4	13
⑤ その他	1	0	1

平成2年9月28日

「都市環境デザインを考える会」を発展させ、「都市環境デザイナー協会」と称する任意団体の発足準備会が開催され、会の規約のあり方、事業展開の展望、事務所設置の方法等について議論が進められた。この時点においては、世話人として数名の方々に加わっていただき、22人の世話人グループにより議論が進められた。

平成2年10月20日

「都市環境デザイナー協会」発足準備会として、表記の世話人グループによる再度の会合がもたれた。発足までにできるかぎりメンバーを増やすとともに、より能動的な組織にするため、発足を前提に、スタートアップの期間を設けることにし、ニュースレターによる意見交換を行うことになった。

## ■アンケートによる意見

都市や環境デザインは、各分野の専門家だけでつくるものではなく、市民・企業・行政等々みんなでつくっているわけであるが、魅力ある環境総体をつくり出していくシステムが、共通のものとなっていない。地域や参加する人間によって異なる面が強く、共有の認識として高めていくには、より多くの人々の環境づくりへの参加と認識を深めてもらう必要がある。そのためには実践の積み重ねと、その経験の共有化への努力が最も効果的だという実感があるが、こうしたことを抜け、深めていく運動が必要だと思う。様々な分野の人々の情報交換、世の中に対する情報発信、都市環境デザインの社会化、人材の育成等々、都市と環境のデザインに対する社会的価値の向上と認識の深まりを目指す運動体として活動出来ないかと思っています。（アンケートより）

主たる狙い以外に、広く市民的センスでの活動を考えて欲しい。私達が一市民として役所や企業と一緒に戦を交えようすると、専門的知識や表現の能力を著しく欠く。この団体がこのようなことに援助してくれれば（少なくとも援助してくれる人材リストをもっていてくれれば）大変に有難い。（アンケートより）

“デザイナー”とは個人の専門を指すことばであるので、総合概念である“都市環境”に対し、デザイナーでくくるのはおかしい。“都市環境デザイン会議”的会員としての照明デザイナーといった在り方でありたい。専門の分野はサウンドやファッショ等より広い概念を持ちたいと思う。（アンケートより）

## ■新組織設立の趣旨

今日、世界の人口の過半が都市に生活をし、人類の生存環境としての都市の役割は、歴史上かつてなくその比重を増しています。

わが国においても、都市への人口集中が急激に進行し、諸々の都市環境問題、あるいは過密、過疎問題等をひきおこし、時々の課題対処を行いながら今日に至っていますが、交通、土地利用等の都市の根本的な構造において、また都市環境の豊かさの面において、未だに多くの問題、課題を抱えています。

経済大国として、国際的にみて国民所得は第1級の水準に躍進したとはいえ、豊かな生活を形成する諸側面について、特に社会的な豊かさの形成において、著しく不満が残されているのではないかと考えられます。なかんずく都市の豊かさは、私的な空間の充足とともに、公的あるいは半公的な空間における豊かさが伴わなければ十全とは言えません。近年、多くの自治体において都市環境のデザイン等に関心が極めて高くなりつつあるのは、このような背景を反映しているものと見ることができます。

ところが、この関心に対応すべき設計、デザインの実施の体制に目を向けると、様々な分野の人々が、各分野のそれぞれの手法で対象に迫ろうと努力してきていますが、より高い水準の都市環境の形成に取り組むための総合的な社会的システムは、ほとんど構築されているとは言えない状況にあります。

次の時代に向けて、豊かな環境を創造するためには、より高度な水準でわが国の社会資本を蓄積していくことが重要であり、よりよい都市環境の設計がめざされ、その実現のため社会システムを構築することが欠かせません。

以上のような認識に基づき、ここに多くの方々の賛同を得て、“良好な都市空間の創造に積極的に関与する人々”の組織化を発意するものです。

## ■新組織の活動内容

以下のような活動展開を軸にしたいと考えています。

- 都市環境デザイナーのネットワークの構築
  - ・都市環境デザイナー名簿
  - ・ニュースレター（双方向）
  - ・例会
  - ・グローバル・ミーティングなど
- 都市環境デザインに係わる情報の発信
  - ・イヤーブック（年鑑）
  - ・季刊誌「都市環境デザイン」
  - ・事例、適任者の紹介、推薦など
- 都市環境デザインの蓄積並びに高度化
  - ・研究会
  - ・見学会など
- 都市環境デザインに係わる人材の育成
  - ・セミナー
  - ・都市環境デザイン教育機関との交流
  - ・コンペ等主催・後援など
- 都市環境デザインをめぐる社会的枠組みに関する研究、提言
  - ・他組織との連携
  - ・課題に応じたアピールなど

## ■新しい組織のイメージ

都市環境デザイナー協会の構成員は、都市環境のデザインに深く関心を持つ個人を対象とし、概ね以下の職業に携わる人であって、本会の設立趣旨に賛同する人とします。入会資格審査は簡素なものとし、幅広くかつ緩やかな人の集まりを作ることを基本に考えています。

- 1) デザイナー、コンサルタント等
  - ・アーバン・デザイナー
  - ・都市計画コンサルタント
  - ・土木設計家
  - ・建築家
  - ・造園家
  - ・インダストリアル・デザイナー
  - ・照明デザイナー
  - ・芸術家（彫刻家、環境音楽関連の音楽家等）
  - ・商業コンサルタント
- 2) 関連分野の専門家
  - ・法律／心理学／文学／歴史／地理学／生態学など
  - ・出版／報道
- 3) 大学人等
  - ・大学、高等学校の先生
  - ・研究機関のスタッフ
- 4) 公共団体職員等（国家・地方公務員、特殊法人の公的団体職員）
- 5) その他

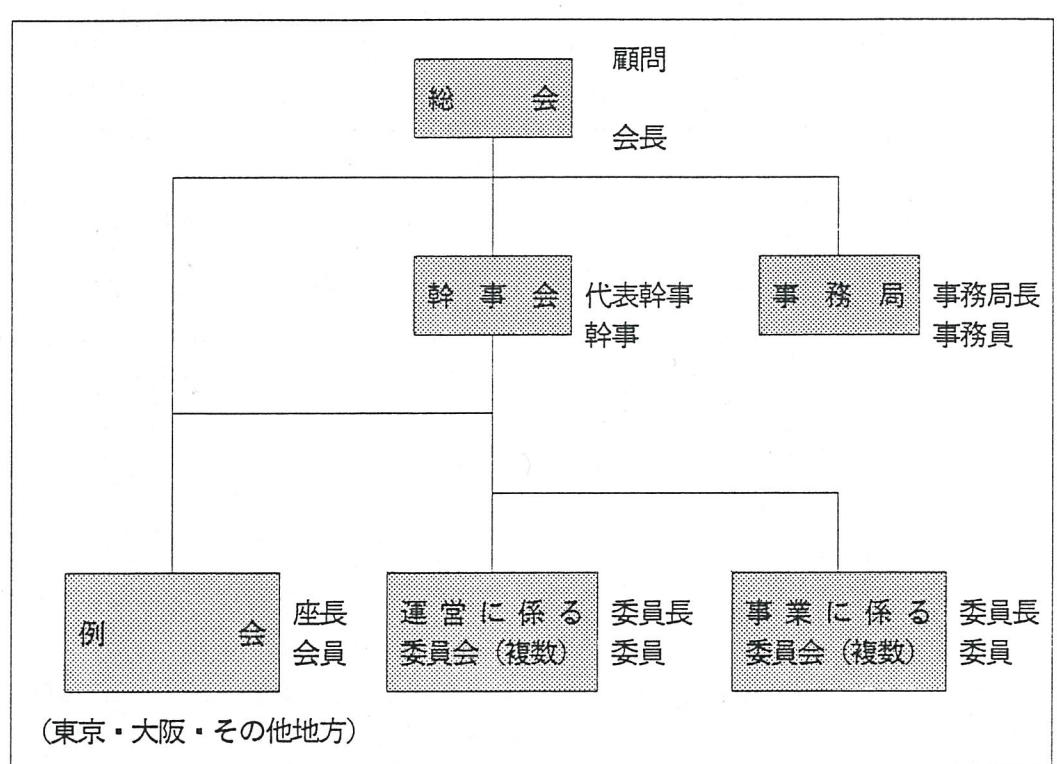
## ■社団法人への移行

しばらくは任意団体として活動を積み重ね、実績（会員数および活動内容）をもとに社団法人等への移行を意図します。

## ■今後の予定

平成2年ごろまで、この種のニュースレターによる意見交換を2、3回行いたいと考えています。組織の発足は来春を予定します。

## ■組織のイメージ



## ■年会費等

以下のように考えています。

- 入会金 / 2万円程度
- 年会費 / 2万円程度

- 
- 協力会費 / 1口 5万円程度 (会員の所属する企業等より)

個々の事業等においては、広告料、協賛金等で一般企業の協力を得る。

■趣旨にご賛同の方、ご意見をお持ちの方は同封の用紙を使って返信を寄せられることを希望します。

このニュースレターは以下の方々に送りました。（アイウエオ順／敬称略）

青木 健	浦口 譲二	片山 和俊	黒川 淳子	菅 孝能
青木保次郎	江口 一郎	加藤 晃規	小泉 嵩夫	鈴木 崇英
赤瀬 達三	江森 一雄	加藤 忠正	輿水 肇	住吉 洋二
浅井 義泰	延藤 安弘	加藤 修	小浪 博英	関根 伸夫
朝倉 悟	大石憲治郎	加藤 常雄	小西阿佐男	関 寛
天野 光一	太田 隆信	加藤 源	小林 篤夫	仙田 満
荒川 俊介	大坪 和子	苅谷 勇雅	小林 郁雄	外崎 公知
荒川 宣昭	大塚 洋明	河合 良樹	小林 治人	曾根 幸一
荒澤 英士	大塚 守康	川井 亘	小林 英夫	曾根 貫一
有村 桂子	大塚 幸雄	河合 武	小宮山 昭	高須喜久男
筏 純一	大西 隆	河北 秀也	後藤 宗平	高谷 時彦
石井 幹子	大野美代子	川口 敦義	後藤 庄吉	高野 清悦
石山 修武	大野 秀敏	川崎 雅史	後藤 祐介	高野 文彰
五十川 勝	大村 虔一	川端 直志	五百田 定	高橋 基弘
磯部 行久	大村美雄	菊川 英輔	斎藤 浩二	高橋志保彥
伊丹 勝	大山 雄三	菊地紳一郎	斎藤 潮	高橋陸三郎
出来 正典	岡田 高昌	菊池 誠	榊原 和彦	高畠 雅晴
伊藤 清忠	岡田 一天	岸井 隆幸	坂本 進	高見 公雄
伊藤 登	岡田 孝博	北沢 猛	桜井 淳	竹内 泰夫
伊藤 哲夫	岡部 重雄	北島 悟	迫田 幸雄	竹田 雅次
井上 善朗	岡 道也	北原 理雄	佐々木政雄	巽 耕一
井上 尚夫	岡村 勝司	北村 真一	佐々木隆文	龍山 義嶶
井口 勝文	小笠原広樹	木村 優	佐藤 方俊	田中 久幸
今井 祝雄	奥貫 隆	清貞 康寛	佐野 寛	田中 直子
今井 晴彦	小倉 善明	久 隆浩	沢木 俊問	田中 滋夫
岩崎 駿介	小澤 尚	久木田禎一	材野 博司	田中 喜一
岩佐 達雄	小沢 明	工藤 卓	シーコーチン	田辺 一之
上田 耕治	押田 健雄	工藤 博文	塩崎 賢明	谷沢 晋
上田 隆司	落合 庸人	国松明日香	篠田 伸生	田村 美幸
上野 泰	尾登 誠一	国吉 直行	篠原 修	田村 誠
上山 良子	加川 浩	窪田 陽一	下村 彰男	田端 修
内田 繁	郭 純	熊沢 雄一	進士五十八	垂水 英司
打林 国雄	角野 幸博	倉田 直道	陣内 秀信	丹沢 孝一
卯月 盛夫	柏木 博	栗原 祐	杉本 貴志	近田 玲子
梅澤 忠雄	片桐 京子	栗生 明	杉山 和雄	千葉 桂司

(裏面に続く)

(お名前に誤りがあった場合には、事務局宛ご連絡下さい。)

千葉 純	西村 幸夫	藤森 照信	宮脇 檀	祐乗坊 進
鄭 雄男	西村 幸雄	藤森 幹人	明星 鎮	弓良 一雄
塙本 俊明	西脇 敏夫	藤本 昌也	六鹿 正治	横川 昇二
辻井 道弘	二宮 公雄	藤原 康夫	村上 正昭	吉田 薫
土田 旭	沼達 賢一	北条 蓮英	村上 祥司	吉田 慎悟
土屋 邦男	野田 展葛	細野 透	村田 邦雄	劉 弘
常光 孝彦	橋岡 武	細谷 恒夫	村田 元六	和田 忠也
富田 勲	初田 正俊	堀 繁	面出 薫	
鳥越けい子	馬場 璋造	掘井 英和	望月 積	
中井 和子	浜田 晓生	本城 達也	元倉 真琴	
中尾 明	浜野 安宏	増田 昇	森 延彦	
中島 猛夫	早川 邦彦	松井 基芳	森川 稔	
中島 俊行	林 孝二郎	松井 雅彦	森重 和久	
中津原 努	林 英光	松上 秀一	森田 昌嗣	
中臣敬治郎	林 洋太郎	松谷 春敏	森野 美徳	
中野 恒明	林 泰義	松葉 一清	森本 毅郎	
中見 哲	原 昭夫	松丸 武	森山 明子	
中村 旭	原田 鎮郎	松本 敏行	八木 建一	
中村 良夫	番 章子	黛 卓郎	矢島 隆	
長澤 忠徳	檜垣 真澄	丸茂 弘幸	矢島 建	
長島 孝一	樋口 裕康	丸茂 喬司	安島 博幸	
長瀬 光市	樋口 忠彦	圓山 彰雄	安田 丑作	
長谷 高史	彦坂 裕	丸山 浩	柳瀬 徹夫	
成田 和治	日高 一樹	三浦 裕二	山岡 義典	
鳴海 邦穎	平岡 博	三木 千寿	山口 守彦	
南條 洋雄	平川 幸三	三沢 彰	山口 譲二	
南條 道昌	平瀬 宣彦	水谷 英樹	山田 英和	
新家 久司	笛木 坦	水野 一郎	山中 浩一	
西 建吾	府川 充	水野 孝	山本 茂	
西植 博	福沢 健次	ミッキ- 中	山本 博徳	
西岡 誠治	福永 知義	安 哲	山本 真三	
西川 潔	藤井経三郎	功	山本 豊津	
西沢 健	藤江 秀一	宮永 博行	山本 忠順	
西田 勝彦	藤川 和孝	宮前 保子	山本 誠人	
西堀 元朗	藤田 好茂	宮村 忠	山本 浩三	

※ 以上のニュースレターの内容に対して、ご意見、ご質問等ありましたら世話人グループのいずれかに、ご連絡下さい。

## ■ニュースレター(返信)

●参加希望者は以下にご記入の上ご返送下さい。尚、返信用封筒(含切手)は各自ご用意下さい。  
事務処理の関係上、FAXはご遠慮下さい。返送は郵送に限らせていただきます。

返信先：日本都市総合研究所 高見公雄 宛  
〒102 東京都千代田区平河町1-8-3 斎藤ビル

Attention!

### ■参加意志のある方会員名簿原稿(簡単な活動歴)

フリガナ 氏 名		
都市環境デザイン に係る分野・領域		
上記分野における 活動歴 (企業内活動含む)		
出身校		卒業年次
勤務先		
勤務先所在地	〒	TEL FAX
自宅住所	〒	TEL

### ■参加にあたってのご意見をお聞かせ下さい。(できればワープロ、貼り込み)

■新しい組織の名称について現在のところ下の2案が候補に上っています。  
その他も含めて、これらのうちいずれが適切か、ご参考までにご意見をお聞かせ下さい。

1. 都市環境デザイン会議
2. 都市環境デザイナー協会
3. その他 [ ]

Attention!

- 呼び掛け範囲を広げるための推薦をお願いします。  
(リストが届き次第ご本人に本ニュースレターをお送りします)

※ニュースレターをお送りした前記以外の方をご推薦下さい。  
また、新しい組織設立の趣旨に鑑み、極力若手の方（概ね55才以下）をご推薦下さい。

氏名	勤務先名	勤務先所在地	電話／FAX
		〒	
		〒	
		〒	
		〒	